



## ハンガリーでアフリカ豚コレラ発生！

4月24日にハンガリーの野生いのししにおいてアフリカ豚コレラが発生しました。ハンガリー政府は、不法に持ち込まれた畜産物が原因と考えているとのこと。ついでには、引き続き飼養衛生管理基準の徹底をお願いします。

### 《特に留意すべき事項》

- ①食品循環資源を原材料とする飼料を給与する場合において、生肉を含み、又は含む可能性があるときは、事前に摂氏70度以上で30分間以上、又は摂氏80度以上で3分間以上加熱処理をすること。
- ②帰国後一週間、衛生管理区域には立ち入らない
- ③海外で使用した衣服及び靴を衛生管理区域には持ち込まないこと
- ④畜舎の給餌設備、給水設備、飼料保管場所等において、野生動物(ねずみ等)が侵入しないように対策を行うこと。
- ⑤農場への病原体侵入を防ぐため、不要な人の立入りや物の持込みをさせないこと。

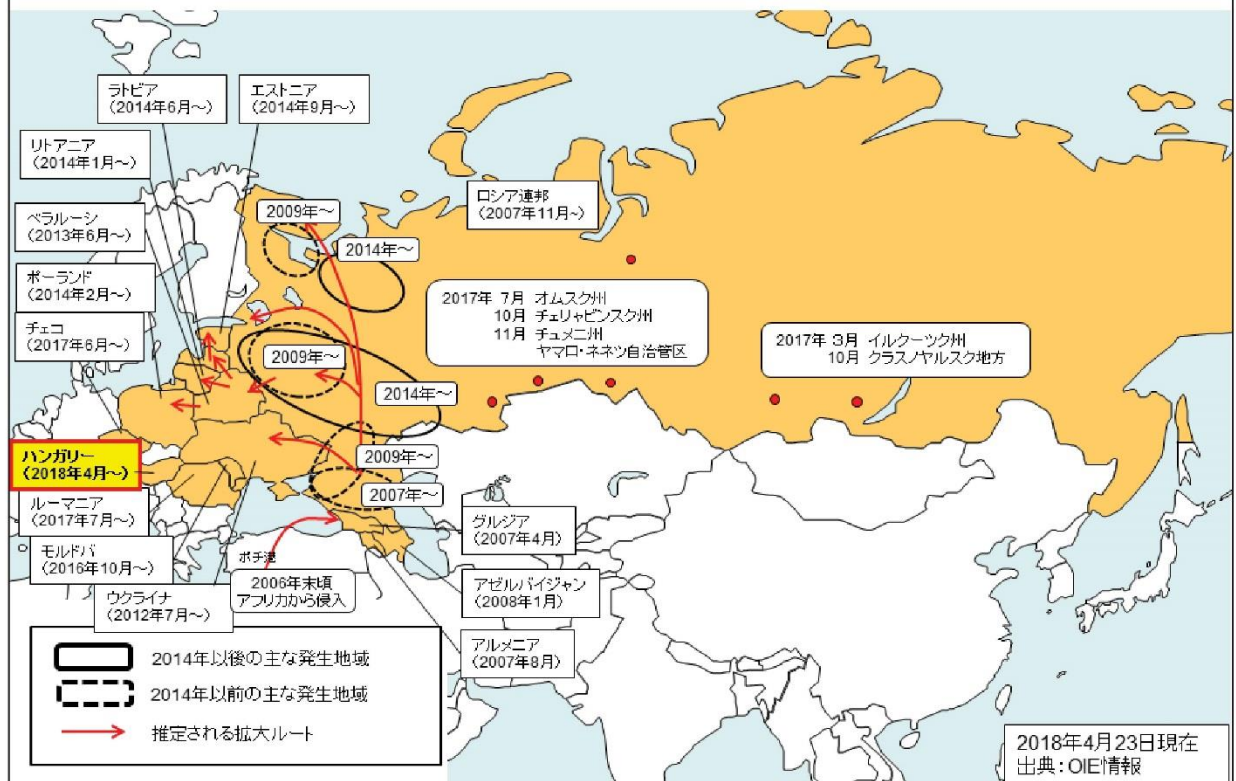


# ハンガリーでアフリカ豚コレラの発生を確認!

2007年にアフリカ豚コレラが確認されて以降、その発生が継続しており、発生地域が徐々に拡大しています。2017年には、ロシアのイルクーツク州やクラスノヤルスク地方のモンゴルとの国境付近で本病の発生が確認された他、2018年4月に、ハンガリーでも本病の発生が初めて確認されました!

**我が国に本病が侵入するリスクが更に高まっています!!**

## 欧州・ロシアにおけるアフリカ豚コレラの発生拡大状況(2007年～)



## アフリカ豚コレラの症状

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、食欲不振、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。



写真出典: USDA APHIS Plum Island Animal Disease Center